

議 事 録

件 名	令和5年度大網白里市環境審議会
日 時	令和6年3月15日（金） 10:00～10:58
場 所	大網白里市役所 別棟2階大会議室
出席委員	【委員】岩崎寛（会長）、上田弘子（副会長）、久我一雄、石井敏夫、木田進、氏家康元
欠席委員	内山佐智子、市東剛、大杉雅之、小栗山喜一郎
事 務 局	地域づくり課 北田課長、内海班長、小倉主査、内海主任主事
配付資料	別添のとおり
内 容	<p>【1. 委嘱状交付式】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北田課長から各委員へ委嘱状を交付 <p>【2. 開会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進行：事務局（内海班長） <p>【3. 委員紹介】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から委員紹介 <p>【4. 議題】</p> <p>（1）会長の互選について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大網白里市環境審議会条例第4条第2項により、委員の互選により岩崎寛委員を会長に選出。 <p>（2）副会長の互選について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大網白里市環境審議会条例第4条第2項により、委員の互選により上田弘子委員を副会長に選出。 <p>（3）第二次大網白里市環境基本計画中間見直し版について</p> <p style="padding-left: 2em;">資料「第2次大網白里市環境基本計画“将来にわたる環境像と目標”（中間見直し版）」に基づき事務局より説明</p> <p>《質疑応答・意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P3「市民1人1日当たりの可燃ごみ排出量」について、元々の計画では「市民1人当たりの年間ごみ排出量」であったのを、今回表現を変え、単位もkgからgになっているが、これは1日当たりに割り返したものであるか？ <p>⇒単純に割り返しただけでなく、従来指標は家庭から出る可燃・不燃ごみと事業者から出る可燃・不燃ごみを合算した数値を計算のベースとしたものであったが、今回の見直しでは家庭から出るごみで、さらにそのうち可燃ごみの1人1日当たりの数値とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値として70g減らすこととしているが、どういう根拠で設定したのか？ <p>⇒数字の設定の根拠については、東金市外三市町清掃組合の「一般廃棄物（ご</p>

み) 処理基本計画」に示される令和8年度の目標値に整合させたものとなる。

- ・数字だけでなく、根拠や背景があると住民としてもわかりやすいと思うので、そういうものがどこかでわかるようになると思う。
- ・同様の観点でP5「小中池公園来園者数」の目標値の設定についても何か根拠があるのか？

⇒現状値となる令和2年度当時、コロナ関係の影響もあり数値が読めない中で、今回の見直し版では1割程度増という設定としている。計画期間の後半において、実績値の推移を踏まえて目標設定も含めて評価して行きたい。

(4) 大網白里市環境基本計画に基づく取組の実施状況について

資料「令和5年度 行政施策評価票」に基づき事務局より説明
《質疑応答・意見》

- ・評価の仕方がA、B、Cとなっているが何か決め事があるのか？
- ⇒効果ありで取り組みを継続していくと考えれば「A」、効果が検証中で継続していくということであれば「B」、効果が不明で中止の検討も視野に入れていくということであれば「C」、というのを基準に各所管課で判断し評価している。

- ・質問の意図は、例えば、「4 低炭素の社会づくりの推進」のハード②で書かれているような、大規模修繕の時に一斉にやろう、というのは当然のことで、おそらく「効果不明」や「中止を検討」ということではない、という感じがしたので、書き方を工夫すればもっとよいものができるのではないか。

- ・評価の判断は、この票の中の「事業内容」のところに本来、達成目標があって、それが達成できているかどうかのチェックだと思う。効果のあり・なしではなくて、達成目標が達成されたかどうか。Bはそれが達成の途中の段階。また、その達成が難しいということであれば、変えていかなければ、ということになってくるのではないかと思う。事業内容の欄に内容に加えて目標もあればこの票を見た時に目標を達成できたかが見えやすくなるのではないか。

⇒目標を設定してそれに対してどうなのかという点と、評価の方法(A B C)も具体的でわかりやすいものにできないかという点を検討していきたい。

- ・「2 快適に暮らせる生活環境の整備」のソフト⑦は効果ありの「A」となっているが、「空家の状況把握」とは具体的にどのようなことか？

⇒水道を閉栓した記録の情報をもとに現地の実態調査を行い、空家と判断された家屋の所有者に対して今後の利用や管理の意向に関するアンケートを実施したのでAとした。今後その情報をもとに空家対策計画を策定し、具体的な方向性等を検討していくことから、効果あり(継続して実施)とした。

- ・空家バンクの登録物件が3件というのは評価Aの割に少ないように感じる。実際には市の空家バンクに登録しなくても売買が成立しているケースが多数あると思うが、件数はわかるか？

⇒不動産会社が独自に行う取引の情報までは把握していない。

- ・不動産業者と協定を結んでいるのであれば、バンクを通さない取引のおおよその件数は把握してみてはどうか。そこに対して制度の利用を呼びかけるのが効果的では。

⇒検討させていただく。

- ・事業内容の欄にもあるように目標は空家の増加抑制。バンクを紹介することだけが書かれているが、バンクに登録せずに成立している件数が多いようであれば、それを「A」としてよいのかという話も出てくる。現状、バンク制度が空家に対して有効に利用されているかを合わせて評価してはどうかという趣旨の意見かと思うので、やはりそこも把握しておく意味はあると思う。

⇒わかりました。

- ・白里海岸が浸食されてなくなっているようだがそれに対して対策することは難しいのか？

⇒白里海岸だけでなく九十九里浜全体の話でもあることから、県で対策を進めている状況と伺っているが、具体的にどのように解決できるか等のはっきりとした答えはこの場ではできない。

- ・小中池公園管理については、都市整備課でも公園整備の計画を進めていると思うが、お互いの課で連携して進めてほしい。現状の調整状況は？

⇒主管課として施策の評価はしてもらっているが、都市整備課の考えるイベントや活性化施策と本計画とのすりあわせは今の段階ではできていないのが現状。

- ・庁内で担当部署が異なったとしても住んでいる人にとっては一つの同じ公園、同じイベント。そこがうまく調整できずにバラバラの計画となってしまう、結局どちらもうまく進まない、となってしまうとすればもったいないことだと思う。地域からの声として意見をいただいたということで、調整を進めていただきたい。全部がそうだというわけでもないと思うが、例えば、公園に関するイベントは一緒にやっつけよう、というところからでもぜひ始めていただければと思う。

⇒今後検討したい。

- ・それぞれの所管課が自己評価したものを、第三者的に本当にそれが適当か、というようなダブルチェックはしているのか？

⇒基本的には各課が評価したものをそのままとめたもの。

- ・「本当にAでよいのか」「Bぐらいではないか」というものが中にはある可能性があるので、そのチェック体制を今後どうしていく考えか。

⇒事務局としても、評価基準のばらつきがなくなるような設定等を検討しつつ、この審議会場で委員各位にチェック体制の役割を担っていただければと考えている。配付した評価票についても審議会場でチェックしやすいように見直し等検討したいので、委員の皆様にもご協力をお願いしたい。

- ・最初に話したように、達成目標の記載があると評価する人によって評価が変わらない。誰が見ても同じように評価できるという仕組みを作ってほしい。

(5) その他

- ・(委員) 特になし。
- ・(事務局) 現在の第2次環境基本計画は令和8年度を計画の最終年度としている。次期計画となる第3次環境基本計画は令和7～8年度に策定の準備を進めていく予定であるので委員各位には引き続きご協力願いたい。

【5. 閉会】